

開腹婦人科手術を受けられる(良性)

様へ

説明医師

看護師

| 月日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | 月 日 | |
|-------|--|---|--|--|---|---|------------------------------|---|--------------------------|
| 経過 | 入院日(前日入院) | 当日(術前) | 当日(術後) | 術後1日目 | 術後2日目 | 術後3日目 | 術後4日目 | 術後5日目 | 術後6日目 退院日 |
| 目標 | ○手術に対する不安を伝えることができ、最小限となる | | ○創部からの多量の出血がない ○ドレーンからの出血が少量である ○悪心、嘔吐を認めない ○腸蠕動音が聴取できる ○血栓・塞栓症状がない ○腓骨神経麻痺をおこさない | ○ドレーンからの出血が少量である ○早期離床の必要性を理解できる ○麻痺性イレウスが起こらない ○感染徴候がない ○VTEが発症しない ○疼痛が薬剤の使用により自制内で経過できる | ○排ガスがある ○早期離床ができる | ○排便がある | ○退院後の生活上の注意点が理解できる | | |
| 検査 | 身長体重を測ります | | | 採血と尿の検査があります | | 採血があります | | | |
| 食事 | 21時以降絶食です *ただし、医師からOS-1の飲水許可があれば医師指示許可時間まで飲水していただけます | 絶食です | | 屋食から流動食となります | 朝から全粥となります | 朝から常食となります | | | 採血・診察の結果問題なければ朝食後退院となります |
| 処置・観察 | 体温・脈拍・血圧を測定します リストバンドを装着します(退院日まで装着します) 夕方に洗腸をします | 午前中に診察があります 手術室で尿の管を挿入します | 術後酸素マスクがついています 術後は体温・脈拍・血圧を頻回に測定します | 歩行でき、医師の許可があれば尿の管を抜きます | 創の確認を行います | 医師によりドレーンの排液量に応じ適時管を抜きます | 医師によりドレーンの排液量に応じ適時管を抜きます | 診察があります | 退院時にリストバンドを外します |
| 注射・内服 | 常用薬のある方は看護師に申し出てください 夕食後に下剤を、就寝前に眠剤を服用します | 午後の手術でOS-1の指示のない方は午前中から点滴があります 点滴用の針を挿入します | 手術後の点滴があります *痛みむかつきなどがあれば看護師に申し出てください | 点滴が朝、夕にあります | 点滴が朝、夕にあります | | | | |
| 行動 | 弾性ストッキングのサイズを合わせます 制限ありません シャワーができます T字帯・夜用ナプキンをお預かりします | 洗面後、手術着に着替え弾性ストッキングをはいてください | 床上安静となります *膝の曲げ伸ばし、足首の運動は行ってください | 座位ができます 可能なら午後より歩行できます 全身を清拭します | 歩行できます 発熱がなければシャワーができます *入浴は入院中はできません | 腹部の管が抜けており、発熱がなければシャワーができます 入浴は入院中はできません *腹部に管のある方は全身清拭をします | | 腹部の管が抜けており、発熱がなければシャワーができます 入浴は入院中はできません *腹部に管のある方は洗髪をします | |
| 説明 | 医師より説明 手術と治療計画について 担当麻酔科医師より説明 麻酔について 薬剤師より説明 お薬について 看護師より説明 入院生活について 手術室看護師より説明 | 看護師より説明 (家人の方に) 手術室の場所と入室方法について | | 看護師より説明 早期離床について | | | | 医師より説明 退院後の治療について 看護師より説明 退院後の療養生活について | |

*入院に関して心配事がありましたらお申し出ください。
*入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。また、定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
*この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。
*入院に際してこの用紙を必ずお持ちください。